

(文責 事務局長 渋谷)



三浦市からは、「環境・生命・安全」の3つの柱で、海洋教育を進めていくことが提案されました。

22日(土)に、東京大学で、海洋教育フォーラム(東京大学海洋アライアンス主催)が行われました。三浦市からは、八巻学校教育課長、高梨指導主事、名向小学校の小倉先生、及び本研究所の事務局長が参加しました。多くの提言がありましたが、「海は公共の財産」、「海は、目に見えないところで、地球を支えている」等の言葉が印象に残りました。東京大学海洋アライア



24日(月)には、剣崎小学校で、カニの観察会が行われました。石渡正昭前校長先生を講師として、江奈湾に生息するカニの観察をしました。

28日(金)に、三崎小学校の佐藤先生が、湘三地区小学校教育課程研究会総合的な学習の時間部会で、昨年度の海洋教育の実践を発表しました。タイトルは、「まだ知らない ぼくたち・わたしたちの海 もっと知りたい」でした。他の地区の先生方から「三浦の海洋教育がうらやましい」という声があったそうです。佐藤先生ありがとうございました。



以前紹介した三崎小学校の、海藻おしば教室の作品が完成して、6年生の教室の外の壁に貼られています。(左の写真) いずれも力作で、さすが6年生という出来栄です。海洋教室には、児童が調べたことをまとめた模造紙が貼られています。(右の写



真) 廊下の壁には、昨年度の海洋教育の取り組みが分かるように、写真が掲示されています。



8月2日(水)には、小学校社会科部会が海の研修を行いました。午前中は、小網代湾で、真珠の養殖やアマモの再生について、小パール隊の方の説明を受けたあと、船で、アコヤガイの養殖の現場へ出かけ、実際に貝を引き上げて見せていただきました。午後は、城ヶ島の県水産技術センターへ。松輪サバや深刻な磯焼けについて説明を受けたあと、施設を案内してもらいました。「農業と比べて、海を守り育てていかなければ、水産業に未来はない、と思いました」などの感想がありました。



海洋教育についてのお問い合わせは、本研究所まで (046-854-9443)